

## スケートボード日本代表選手

# 夢と感動をありがとう!!



東京2020オリンピック競技大会スケートボードストリート種目とパーク種目で快挙達成!

スケートボードストリート種目代表選手については7月16日～19日、パーク種目代表選手については26日～29日のそれぞれ4日間にわたり村上市スケートパークで日本代表の事前合宿が行われました。

7月25日、この事前合宿に参加したスケートボード男子ストリート種目代表の堀米雄斗選手が金メダルを獲得、翌26日に行われた女子ストリート種目では西矢椛選手が金メダル、中山楓奈選手が銅メダルを獲得しました。

また、8月4日に行われた女子パーク種目では、四十住さくら選手が金メダル、開心那選手においては日

本人最年少メダリストとなる銀メダルを獲得し、岡本碧優選手も4位に入賞しました。

そして、本市出身の平野歩夢選手。スノーボードハーフパイプ2大会連続の銀メダリストで、スケートボードパーク種目で夏冬オリンピック出場を果たし、堂々たる競技を見せてくれました。短い調整期間で二刀流を果たしたその勇気とチャレンジは、スケートボードに向き合う子どもたちをはじめ、私たち市民に夢と感動を与えてくれました。ありがとうございました。

村上市はスケートボードの聖地「むらかみ」を目指し、これからもトップ選手を目指す子どもたちや若者の夢を応援していきます。



go to the next stage ～次のステージへ～

## 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル「村上市の火」

# パラアスリート、新成人らにより採火



東京2020パラリンピック聖火フェスティバル「村上市の火」の採火式が8月15日、市民ふれあいセンターで行われました。

採火を行ったのはパラアスリートで本市出身の三須穂乃香さん、令和2年度と令和3年度成人式実行委員の9人。残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により「成人式」は令和4年1月に延期となりましたが、東京2020パラリンピックが「多様性と調和」「未来への継承」をコンセプトとしていることから、次代を担う若者がその役割を担い、思いの込められた「村上市の火」を採火しました。

パラリンピックの採火は47都道府県880超の市区町村で工夫を凝らして行われ、本市で採火された火も県内の各市町村の火とともに東京へ向いました。

集火式で各都道府県から持ち寄られた火と、パラリンピック発祥の地であるストーク・マンデビル（イギリス）の火と1つの火に統合され、東京2020パラリンピック聖火となりました。





中山 楓奈選手

西矢 栞選手

西村 碧莉選手

堀米 雄斗選手

白井 空良選手

青木 勇貴斗選手

### スケートボード日本代表の事前合宿の様子が動画でご覧いただけます

村上市スケートパークで事前合宿を行っていた様子やインタビュー、7月17日と27日にそれぞれ開催されたキャンペーンセレモニーの様子を編集した動画をご提供いただきました。

市の公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます。ぜひご視聴ください。



岡本 碧優選手

四十住 さくじ選手

開心 那選手

平野 歩夢選手

## 9月5日(日)

東京2020パラリンピック最終日  
男子マラソン T46

なが たつとむ  
**永田 務選手 出場!**  
(本市出身)

応援、よろしくをお願いします



▲三須穂乃香さんがコークスの火から採火し、成人式実行委員が各支所に展示するための火をランタンに分火しました

### 「村上市の火」について

東京2020パラリンピック聖火で採火した「村上市の火」は、城下町村上の町人文化であった鍛冶作業の燃料であるコークスの火から採火しました。

江戸時代、村上城主堀直奇の大規模な城郭の拡張と町作りに伴い、城郭の普請や屋敷づくり、武具などの需要増加により鍛冶職が盛んになりました。泰平の世が続くと和釘や大工道具、農具などに需要が変化。明治時代の洋釘の普及などに影響を受けながらも、昭和の初めごろには村上地区に鍛冶職が40軒ほどありました。

鍛冶の仕事には木炭が大量に必要とされ、それぞれの鍛冶屋は木炭を焼く人と契約をしていました。燃料にコークスを用いるようになったのは大正末期。木炭(松炭)は炭素が作用して良い刃物になりましたが6尺も燃え上がり、逆にコークスは火力は強いが燃え上がらない利点がありました。

村上地区の鍛冶町では、現存する鍛冶屋の建物は一軒になりましたが、その建物は街角博物館として再生され、昔の仕事場がそのまま残り、以前使われていた鍛冶道具などが展示・公開されています。